

恵飛須委員（自民議連）

令和7年3月11日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）県立高校の特色強化に向けた取組について

特定分野に特化した学科の設置や、地元企業の協力を基にした学習などが進められていると認識しているが、具体的にどのような成果が上がっているのか、教育長に伺う。

また、更なる競争力向上や特色ある学校づくりに向けた学校現場との連携体制の強化について、併せて教育長に伺う。

（答）

本県におきましては、地域の暮らしや産業を支える人材からグローバルに活躍する人材まで厚みのある多様な人材層の形成に向けて、特色ある学校づくりを推進しており、中でも、専門高校・専門学科においては、地元企業と連携し、専門的な知識・技術、職業人に求められる倫理観やコミュニケーション能力等を育成してまいりました。

こうした取組の結果、「広島県あるいは自分が住んでいる地域が好き」と回答した生徒の割合が9割を超えるなど、地域への愛着を育むことに成果が現れているほか、就職希望者のうち9割近くの生徒が県内企業へ就職するなど、地域社会を支える人材の育成に寄与できているものと考えております。

また、地域との連携を含めた安定的な学校経営や特色ある学校づくりに向けましては、地域の力を生かした教育活動を進められるよう、校長経験のある教育委員会事務局の職員等が学校の状況や課題を丁寧に聴き取り、地域連携の取組を踏まえた助言等を行うなど、緊密に連携を図っているところでございます。

一方で、人口減少や産業構造の変化、高校授業料実質無償化の動きなどもあり、公立高校を取り巻く状況は大きく変化しており、こうした課題に適切に対応するとともに、各学校の魅力化・特色化を図る取組が必要であると考えております。

このため、「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」につきまして、様々な観点から議論・検討を進めるとともに、地域と連携・協働した魅力化・特色化に向けた研修会を開催しているところでございます。